

東三河北部医療圏保健医療計画（試案） 新旧対照表（案）

< 目 次 >

第2章	機能を考慮した医療提供施設の整備目標	
第1節	がん対策	
	P 6 現状	1
	P 7 表	1
	P 8 医療連携体系図	2
第2節	脳卒中対策	
	P 1 1 医療連携体系図	3
第3節	急性心筋梗塞対策	
	P 1 3 医療連携体系図	4
第4節	糖尿病対策	
	P 1 4 現状と課題	5
第3章	救急医療対策・災害保健医療対策	
第1節	救急医療対策	
	P 1 7 現状	6
第4章	周産期医療対策	
	P 2 3 現状と課題	6
第5章	小児医療対策	
	P 2 6 現状と課題	7
第8章	病診連携等推進対策	
	P 3 4 現状と今後の方策	8
第9章	高齢者保健医療福祉対策	
	P 3 5 課題と今後の方策	9
第10章	歯科保健医療対策	
	P 3 8 現状と課題	10
第11章	薬局の機能強化等推進対策	
	P 4 0 現状と課題	11
第12章	精神保健医療福祉対策	
	P 4 4 今後の方策	11

第2章 機能を考慮した医療提供施設の整備目標

第1節 がん対策

【現状と課題】

		変更前	変更後																							
6 ページ	現状	<p>2 がん医療提供体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 当医療圏には、地域がん診療連携拠点病院がありません。 ○ 現在、<u>圏域内</u>で唯一新城市民病院が胃・大腸がんと前立腺・膀胱・腎臓がんにおいて手術機能を有しています。(表 2-1-5) <p>3 緩和ケア等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>当医療圏</u>には、緩和ケア病棟を有する医療機関はありません。 ○ 麻酔によるがん疼痛治療等緩和ケアを行う医療機関は7施設あります。(表 2-1-6) 	<p>2 がん医療提供体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 当医療圏には、<u>地域がん診療連携拠点病院及びがん診療拠点病院</u>がありません。 ○ 現在、<u>医療圏内</u>で唯一新城市民病院が胃・大腸がんと前立腺・膀胱・腎臓がんにおいて手術機能を有しています。 <p>3 緩和ケア等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>当医療圏</u>には、<u>緩和ケア病棟を有する医療機関はありませんが、麻酔によるがん疼痛治療を行う医療機関は7施設、がんに伴う精神症状のケアを行う医療機関が1施設、緩和的放射線治療法を行うが医療機関が1施設</u>あります。 																							
7 ページ	表	<p>(変更前)</p> <p>表 2-1-5 圏内における悪性腫瘍の手術機能状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="4">症例の多い(年間10件以上実施した)悪性腫瘍の手術</th> </tr> <tr> <th>新城市民病院</th> <th>胃悪性腫瘍手術</th> <th>大腸悪性腫瘍手術</th> <th>前立腺悪性腫瘍手術</th> <th>膀胱悪性腫瘍手術</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：愛知県医療機能情報公表システム(平成21年度調査)</p> <p>表 2-1-6 圏内における緩和ケア対応機能状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>医療用麻酔によるがん疼痛治療</th> <th>がんに伴う精神症状のケア</th> <th>緩和的放射線療法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>実施数</th> <td>7施設</td> <td>1施設</td> <td>1施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：愛知県医療機能情報公表システム(平成21年度調査)</p> <p>(変更後)</p> <p>表 2-1-5 及び表 2-1-6 削除</p>			症例の多い(年間10件以上実施した)悪性腫瘍の手術				新城市民病院	胃悪性腫瘍手術	大腸悪性腫瘍手術	前立腺悪性腫瘍手術	膀胱悪性腫瘍手術							医療用麻酔によるがん疼痛治療	がんに伴う精神症状のケア	緩和的放射線療法	実施数	7施設	1施設	1施設
	症例の多い(年間10件以上実施した)悪性腫瘍の手術																									
新城市民病院	胃悪性腫瘍手術	大腸悪性腫瘍手術	前立腺悪性腫瘍手術	膀胱悪性腫瘍手術																						
	医療用麻酔によるがん疼痛治療	がんに伴う精神症状のケア	緩和的放射線療法																							
実施数	7施設	1施設	1施設																							

第4節 糖尿病対策

【現状と課題】

		変更前	変更後
14ページ	現状	2 糖尿病医療の提供体制	2 糖尿病医療の提供体制（追加） ○ <u>近年、糖尿病と歯周病には相関関係があり、両者がお互いに他方を悪化させるといわれており、医科・歯科の医療機能強化や病診の連携の取り組みがされているが、まだ十分ではありません。</u>
14ページ	課題	2 糖尿病医療の提供体制 ○ 軽症の糖尿病であっても、肥満、高血圧、高脂血症などの要因を合併することにより、動脈硬化を進行させるため、メタボリックシンドローム予防に対する自己管理を充実させる必要があります。 ○ 合併症予防、糖尿病の進行を防止するため、それぞれの病状に併せた診療を受ける必要があります。医科・歯科の医療機能強化や病病、病診、診診の連携強化が必要です。なお、歯周病との関連についても啓発していくことが必要です。	2 糖尿病医療の提供体制 ○ 肥満、高血圧、 <u>脂質異常症や高血糖</u> などの要因が合併することにより、 <u>動脈硬化が進行する</u> ため、メタボリックシンドローム予防に対する自己管理を充実させる必要があります。 ○ <u>合併症予防、糖尿病の進行を防止するため、それぞれの病状に併せた診療を受ける必要があります。医科・歯科の医療機能強化や病病、病診、診診の連携強化が必要です。</u> ○ 歯周病との関連についても啓発していくことが必要です。

第 3 章 救急医療対策・災害保健医療対策

第 1 節 救急医療対策

【現状と課題】

		変更前	変更後
1 7 ページ	現 状	<p>2 第 2 次救急医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歯科診療所での対応が困難なケースは、新城市民病院口腔外科で対応しています。 <p>4 救急搬送体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新城市消防防災センターに 24 時間対応のヘリポートが設置され、平成 20 年 4 月から運用が開始されています。同年 4 月から東栄町が、平成 21 年度に設楽町が、24 時間対応のヘリポートを整備しています。 	<p style="text-align: center;">削除</p> <p>4 救急搬送体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新城市消防防災センターに 24 時間対応のヘリポートが設置され、平成 20 年 4 月から運用が開始されています。<u>平成 20 年度に東栄町、平成 21 年度に設楽町に 2 箇所目の 24 時間対応のヘリポートが整備されました。</u>

第 4 章 周産期医療対策

【現状と課題】

		変更前	変更後
2 3 ページ	現 状	<p>2 周産期医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新城市では、お産ができるよう分娩を扱う公設助産所の設置に向けての検討が行われています。 	<p>2 周産期医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新城市では、<u>公設助産所の設置</u>に向けての検討が行われています。
2 3 ページ	課 題	<p>2 周産期医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>当医療圏内での分娩を扱う施設として新城市の公設助産所の設置が望まれています。</u> 	<p>2 周産期医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新城市の公設助産所の設置が望まれています。

第5章 小児医療対策

【現状と課題】

		変更前	変更後
26 ページ	現 状	3 小児救急医療体制 ○ <u>深夜に受診が必要な2次救急医療は、他医療圏に依存している現状です。3次救急医療は、東三河南部医療圏にある救命救急センターに搬送しています。</u>	3 小児救急医療体制 ○ <u>深夜に受診が必要な救急医療は、他医療圏に依存しています。</u>
25 ページ	課 題	1 地域の保健・医療の状況 ○ 各市町村における母子保健活動の充実を図り、母子健診等の機会に保護者に対して、 <u>かかりつけ医・薬局の知識を普及啓発する必要があります。</u>	1 地域の保健・医療の状況 ○ 各市町村における母子保健活動の充実を図り、母子健診等の機会に保護者に対して、 <u>かかりつけ医やかかりつけの薬局をもつことの重要性を普及啓発する必要があります。</u>

第 8 章 病診連携等推進対策

【現状と課題】

		変更前	変更後
3 4 ペ ー ジ	現 状	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>平成 21 年度愛知県患者一日実態調査でみると、H21 年 6 月 30 日の当圏域内の入院患者数は 573 人で、そのうち、当圏域内の医療機関に入院している患者数は 330 人で 57.6%となります。(表 8-1)</u> ○ <u>新城市民病院は、豊川市民病院と救急体制等の医療機能を分担した連携が進められています。</u> 	<p style="text-align: center;">(削除)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>新城市民病院は、豊川市民病院と救急体制等の医療機能を分担しています。</u> ○ <u>平成 21 年 4 月より豊川市医師会と豊川市民病院との病診連携体制に新城医師会も参加し、病診連携を図っています。</u>
3 4 ペ ー ジ	今 後 の 方 策	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>新城市民病院と豊川市民病院との医療機能の連携強化を支援します。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>新城市民病院と豊川市民病院及び医師会との医療機能の連携強化を支援します。</u>

第9章 高齢者保健医療福祉対策

【現状と課題】

		変更前	変更後
35 ページ	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>地域包括ケアを推進していく取り組みが重要です。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>高齢者のニーズや状態の変化に応じて、様々なサービスが提供されるよう地域包括ケアの推進が重要です。</u>
35 ページ	今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者保健福祉計画に基づく介護予防対策や健康増進計画に基づく生活習慣病予防対策の事業等を計画的に推進していきます。 ○ 地域包括支援センターを活用し、<u>地域保健福祉サービスの充実に努めていきます。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者保健福祉計画に基づく介護予防や認知症などの対策並びに健康増進計画に基づく生活習慣病予防対策の事業等を計画的に推進していきます。 ○ 地域包括支援センターを活用し、<u>保健医療の向上や福祉の増進に努めていきます。</u>

第 10 章 歯科保健医療対策

【現状と課題】

		変更前	変更後
3 8 ペ ー ジ	現 状	<p>1 ライフステージに応じた歯科保健対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>児童のむし歯は、県と同様、多くのむし歯を持つ児とない児が二極化しています。(表 10-2)</u> <p>2 歯科医療対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>当医療圏には無歯科医地区があり、かかりつけ歯科医の機能が十分に整っているとは言えません。</u> ○ <u>無歯科医地区以外では、在宅療養者等への歯科診療の提供体制は整っていますが、口腔機能の向上等の摂食・嚥下に対する医療供給体制は十分ではありません。</u> ○ <u>心身障害者(児)に対する専門的な歯科診療を受ける体制は十分ではありません。</u> 	<p>1 ライフステージに応じた歯科保健対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>児童のむし歯は、県と同様、むし歯のある児が一人で多くのむし歯を持っております。(表 10-2)</u> <p>2 歯科医療対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>かかりつけ歯科医を持つ人の割合は 43%でした。(※)当医療圏には無歯科医地区があり、かかりつけ歯科医の機能が十分に整っているとは言えません。</u> ○ <u>無歯科医地区以外では、在宅療養者等への訪問歯科診療を行っている歯科診療所は 56%でした。歯科衛生士による「訪問歯科指導」「居宅療養管理指導」は実施されていません。(※)</u> ○ <u>障害者(児)に対する治療を行っている歯科診療所は 68%でした。(※)</u> <p style="text-align: center;"><u>※県歯科医療機能連携実態調査結果(H21 年度)</u></p>
3 8 ペ ー ジ	課 題	<p>2 歯科医療対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>在宅や施設において、歯科治療だけでなく、摂食・嚥下に取り組むかかりつけ歯科医の増加を図ることが重要です。</u> ○ <u>心身障害者(児)専門の歯科診療体制が図られることが望まれます。</u> 	<p>2 歯科医療対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>在宅や施設において、歯科治療だけでなく、摂食・嚥下に取り組むかかりつけ歯科医や歯科衛生士の増加を図ることが重要です。</u> ○ <u>障害者(児)専門の歯科診療体制が図られることが望まれます。</u>

第 1 1 章 薬局の機能強化等推進対策

第1節 薬局の機能推進対策

【現状と課題】

		変更前	変更後
40ページ	現状	○ 当医療圏には保険薬局は 21 施設あり、在宅医療等に対する 24 時間の応需体制に努めています。(表 11-1-1)	○ 当医療圏には保険薬局は 21 施設、人口万対比では 3.4 と県平均 3.9 を下回っています。(表 11-1-1) ○ 在宅医療等に対する 24 時間体制はほぼ整いつつあります。 ○ 妊娠・授乳中の女性の薬剤使用についての相談窓口はありません。
40ページ	課題		(追加) ○ 妊娠・授乳中の女性が薬剤使用について身近に相談できる窓口が求められています。

第 1 2 章 精神保健医療福祉対策

【現状と課題】

		変更前	変更後
44ページ	今後の方策		(追加) ○ <u>ライフステージごとに、精神疾患や精神障害者に対する正しい知識の普及啓発を図りつつ、幅広い領域の関係機関と連携し、総合的な取り組みを進めていきます。</u>